

令和元年度

事業報告書  
会計決算報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

令和元年度

# 事業報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

# 令和元年度 事業報告書

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月 31日

本年度の令和2年3月31日現在における事業実施状況は、次のとおりである。

## 1. 会 員

令和2年3月31日現在の会員数は次のとおりである。

会員数	23 会員
・地区乗馬倶楽部振興会	20 会員
・目的賛同団体	3 団体

## 2. 乗馬施設・乗用馬・乗馬指導者等登録事業

乗馬施設等登録規程に基づく登録は次のとおりであり、乗馬施設の登録は前年との差異が2乗馬施設の増加(4乗馬施設増、2乗馬施設減)、乗用馬登録は前年との差異が29頭の減少、乗馬指導者は前年との差異が9名の減少であった。

乗馬施設	276 乗馬施設	【別表 1】
乗用馬	5,098 頭 (平成31年4月末時点の登録数)	
乗馬指導者	1,902 名(上級 B 135・W10 名、中級 B 250・W25 名、初級 B 1,410・W72 名)	

【別表 1】 令和元年度 登録乗馬施設数の推移

	地 区	各地区乗馬倶楽部振興会 都道府県別登録乗馬施設数	令和元年度				平成 30年度
			乗馬 施設数	入会	退会	(うち 休会)	
1.	北海道	北海道 21	21				21
2.	東 北	青森 3(1)岩手 2 山形 0 宮城 4 秋田 1 福島 2	12	1		(1)	11
3.	北関東	栃木 10 茨城 15 群馬 4	29	2	1		28
4.	埼 玉	埼玉 12	12				12
5.	千 葉	千葉 28(1)	28			(1)	28
6.	東 京	東京 5	5				5
7.	神奈川	神奈川 20	20				20
8.	北 陸	新潟 2 富山 1(1)石川 2 福井 2	7			(1)	7
9.	長 野	長野 10	10				10
10.	山 梨	山梨 9	9	1	1		9
11.	静 岡	静岡 17	17				17
12.	東 海	愛知 10 岐阜 3	13				13
13.	東近畿	三重 7 奈良 5	12				12
14.	京 阪	滋賀 5 京都 6 大阪 7 和歌山 1	19				19
15.	兵 庫	兵庫 8	8				8
16.	中 国	岡山 5 広島 9 鳥取 1 島根 1 山口 4	20				20
17.	四 国	香川 2 愛媛 2 高知 2(1)徳島 1	7			(1)	7
18.	北部九州	福岡 10(1)佐賀 1	11			(1)	11
19.	中九州	大分 4 熊本 5 長崎 1	10				10
20.	南九州	宮崎 1 鹿児島 3 沖縄 2	6				6
	合 計		276	4	2	(5)	274

【新規登録乗馬クラブ】4件

海岸公園馬術場	(東北地区	: 宮城県)
乗馬クラブ アトラス	(北関東地区	: 群馬県)
特定非営利活動法人 障害者のための馬事普及協会	(北関東地区	: 栃木県)
TRC乗馬クラブ小淵沢	(山梨地区	: 山梨県)

【退会乗馬クラブ】2件

(有)浅間クレールライディングサークル	(北関東地区	: 群馬県)
山梨国際乗馬クラブ	(山梨地区	: 山梨県)

【休会乗馬クラブ】5件

乗馬クラブ アクシス	[1年目]	(東北地区	: 青森県)
殿山ガーデン乗馬クラブ	[1年目]	(千葉地区	: 千葉県)
富山乗馬クラブ	[2年目]	(北陸地区	: 富山県)
(株)ブリタニア乗馬倶楽部	[1年目]	(四国地区	: 高知県)
むなかた乗馬クラブ	[2年目]	(北部九州地区	: 福岡県)

### 3. 諸会議等

令和元年度に開催した主な会議等は、次のとおりである。

《総会の開催》

定時社員総会

6月18日

議題

1. 平成30年度事業報告について
2. 平成30年度会計決算報告について
3. 理事辞任に伴う後任理事の選任について
4. 定款の変更について
5. 役員報酬等の支給に関する規程の改正について
6. 常勤役員慰労金支給規程の改正について

《理事会の開催》

第1回理事会

5月28日

議題

1. 令和元年度定時社員総会に付議する議案について
2. 令和元年度定時社員総会の開催について
3. 諸規程の改正について

第2回理事会

令和2年2月17日

議題

1. 令和2年度事業計画・収支予算について
2. 諸規程の改正について
3. 事務局長の任免について

第3回理事会

理事が提案した事項に理事会が同意したみなし理事会決議

・理事会の決議があったとみなされた日

令和2年3月27日

・理事会があったものとみなされた内容

議題

公益目的事業内容の変更について

《その他の会議等の開催》

常務理事会

5月28日、6月18日、令和2年2月17日

地区等会長会議

令和2年2月17・18日

#### 4. 人事関係

令和元年度における役員等の異動は、次のとおりであった。

選任理事 横田 貞夫 (6月18日)  
 退任理事 木村 一人 (6月18日)

#### 5. 乗馬普及事業

広く一般市民に乗馬普及を図るため下記事業を行った。

##### (1) 大衆と馬とのふれあいタイム推進事業

日本中央競馬会(以下「JRA」という。)からの助成を受け、地域の児童から高齢者に至るまでを対象に、行政機関や教育機関、地域社会等と連携し一般市民が馬とふれあう機会を増加させ、馬の持つ魅力を広く伝えるとともに地域振興等に有意義であると認められる事業を主催もしくは協力した乗馬施設に対して補助金を交付しており、事業の実施件数は74件であった。

なお、令和2年3月10日に補助金交付のための事業推進委員会を书面決裁にて実施し、補助金の交付を行った。

##### (2) 被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業

JRAからの助成を受け、被災した地域の住民と馬とのふれあい活動を行うことにより、被災地の子供及び家族に明るく元気になってもらい、心身の健全な発展に寄与する事業を実施した。実施件数は現地訪問型80件、乗馬施設招致型44件、都市部開催型1件であった。

なお、事業推進委員会を12月18日にJRA新橋分館会議室において開催した。

##### (3) 乗馬技能認定事業

###### ① 乗馬技能認定

乗馬愛好者の乗馬技術の向上意欲を図り、また効率的で安全な指導を行うため乗馬技能認定を行い、合格者に認定証を交付した。

なお、申請者数は10,683名、合格者10,340名であり、審査回数は1,702回、技能認定審査実施乗馬施設数は157施設であった。

【別表2】

【別表2】 令和元年度 乗馬技能認定結果

(単位:名)

級 / 年度		令和元年度		平成30年度		前年度比
審査回数		1,702		1,582		107.6%
乗馬クラブ数		157		156		100.6%
5級	申請者数	5,755		5,165		111.4%
	合格者数・合格率	5,753	99.9%	5,163	99.9%	111.4%
ウエスタン5級	申請者数	32		45		71.1%
	合格者数・合格率	31	96.9%	45	100%	68.9%
4級	申請者数	2,352		2,544		92.5%
	合格者数・合格率	2,347	99.8%	2,535	99.6%	92.6%
ウエスタン4級	申請者数	13		35		37.1%
	合格者数・合格率	13	100.0%	34	97.1%	38.2%
3級	申請者数	1,439		1,379		104.4%
	合格者数・合格率	1,254	87.1%	1,219	88.4%	102.9%
ウエスタン3級	申請者数	10		27		37.0%
	合格者数・合格率	8	80.0%	21	77.8%	38.1%
エンデュランス3級	申請者数	27		24		112.5%
	合格者数・合格率	27	100.0%	22	91.7%	122.7%
3級障害	申請者数	223		230		97.0%
	合格者数・合格率	213	95.5%	224	97.4%	95.1%

級 / 年度		令和元年度		平成 30 年度		前年度比
2 級障害	申請者数	151		125		120.8%
	合格者数・合格率	144	95.4%	111	88.8%	129.7%
2 級馬場	申請者数	545		551		98.9%
	合格者数・合格率	448	82.2%	470	85.3%	95.3%
ウエスタン 2 級	申請者数	1		7		14.3%
	合格者数・合格率	1	100.0%	7	100%	14.3%
エンデュランス 2 級	申請者数	8		14		57.1%
	合格者数・合格率	5	62.5%	12	85.7%	41.7%
1 級障害	申請者数	2		8		25.0%
	合格者数・合格率	0	—	7	87.5%	—
1 級馬場	申請者数	125		140		89.3%
	合格者数・合格率	96	76.8%	128	91.4%	75.0%
ウエスタン 1 級	申請者数	0		1		—
	合格者数・合格率	0	—	1	100%	—
エンデュランス 1 級	申請者数	0		1		—
	合格者数・合格率	0	—	1	100%	—
合 計	申請者数	10,683		10,296		103.8%
	合格者数・合格率	10,340	96.8%	10,000	97.1%	103.4%

なお、技能認定 1・2 級合格者のうち、(公社)日本馬術連盟の定める騎乗者資格 B 級への移行措置者は 210 名であった。【別表 3】

【別表 3】 令和元年度 日本馬術連盟騎乗者資格 B 級移行者数 (単位：名)

技能認定	障害		馬場		エンデュランス		合計
	1 級	2 級	1 級	2 級	1 級	2 級	
人数	3	112	13	77	0	5	210
	115		90		5		
移行先	B 級		B 級馬場馬術限定		B 級エンデュランス限定		

② ポニーライダー技能認定

中学生以下を対象として馬との親和性を図るため、また、乗馬技術の向上とポニーを使った技能認定を行い、合格者に認定バッジを交付した。認定登録者数は 309 名であった。【別表 4】

【別表 4】 令和元年度 ポニーライダー登録者数 (単位：名)

級 / 年度	令和元年度	平成 30 年度	前年度比
5 級	165	160	103.1%
4 級	57	75	76.0%
3 級	46	50	92.0%
2 級	30	26	115.4%
1 級	11	16	68.8%
合計	309	327	94.5%

#### (4) 普及乗馬大会

##### ① 全国普及乗馬大会

一般市民を対象として、乗馬技術の向上と相互交流を図るため、6月13日～16日の4日間、御殿場市馬術・スポーツセンターで開催した。

##### ② 地区普及乗馬大会

一般市民を対象にした各地区の乗馬大会を共催し、19地区振興会、1団体会員で開催した。なお、1地区（長野地区）は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

#### (5) 乗用馬取扱講習会事業

一般市民を対象としたナチュラルホースマンシップに関する講習会を、米国から講師を招聘し6月13日～15日に静岡県御殿場市馬術・スポーツセンターで実施した。

#### (6) 乗馬普及広報事業

乗馬の健全な普及を図るため、乗馬に関する情報等をホームページに掲載し、広く乗馬の魅力を発信する他、様々なイベントを利用して広報に努め、地区乗馬倶楽部振興会等で実施する試乗会や普及乗馬大会等を地区乗馬倶楽部振興会のホームページやマスコミにも積極的に広報するよう依頼した。

また、本協会の活動内容を広く周知する為、本協会のロゴ・名前等を記入したノベルティの作成・配布を行った。

### 6. 乗馬施設関係事業

#### (1) 乗馬施設再貸付事業

乗馬施設等が乗馬普及に必要な動産の整備を行うにあたり、申請書に基づき審査の上、(公財)畜産近代化リース協会から本協会がこれらを借り受け、乗馬施設等に再貸付を行った。

11乗馬施設へ14件、取得価額総額66,250,640円の乗馬施設再貸付を実施した。 【別表5】

【別表5】 令和元年度 (公財)畜産近代化リース協会関係 事業実施状況 (新規)

乗馬クラブ名	機械施設名	数量	取得価格 (円)	契約日(上段) 貸付開始日(下段)
MRC 乗馬クラブ松山	トラック・ 馬積載箱	2	9,115,200	平成30年12月3日 6月1日
春香ホースランチ	ワゴン車	1	3,558,600	2月7日 6月1日
ライディングクラブ フジファーム	乗鞍	6	3,564,000	3月29日 4月1日
(有)トレジャーズファーム ちばシティ乗馬クラブ	簡易式馬場柵	1	1,466,640	5月13日 5月1日
STABLE HORSEPOWER	健康増進機能付 馬着	1	972,000	6月7日 6月1日
北総乗馬クラブ	ウォーキング マシン	1	12,798,000	6月12日 10月1日
〃	堆肥散布機搭載 トラック	1	8,560,200	6月12日 10月1日
STABLE HORSEPOWER	空調機設備	1	5,659,200	6月28日 7月1日
蒜山ホースパーク	健康増進機能付 馬着	1	972,000	7月26日 8月1日
(有)トレジャーズファーム ちばシティ乗馬クラブ	簡易式馬場柵	4	960,300	7月31日 10月1日
(株)日本トレッキング	ホイールローダー	1	3,780,000	9月10日 9月1日

乗馬クラブ名	機械施設名	数量	取得価格 (円)	契約日(上段) 貸付開始日(下段)
カナディアンキャンプ 乗馬クラブ	空調機設備	1	8,440,300	12月2日 令和2年1月1日
(有)成田乗馬倶楽部	ワゴン車	1	5,299,800	令和2年1月21日 令和2年2月1日
乗馬クラブルヴァード花畑	簡易式倉庫	1	1,104,400	令和2年3月6日 令和2年3月1日
合計	11 施設	14 件	66,250,640	

## (2) 乗馬施設費利子補給事業

乗馬施設等が借入金で新規に乗馬施設の整備を行う場合、申請書に基づき書類審査及び現地確認を行い、適正であった案件を利子補給対象としている。

なお、平成20年度から新規の応募は受け付けていない。

## (3) 優良乗馬施設認定事業

利用者の安全や周辺環境等に配慮した優良乗馬施設を認定するため、申請に基づき現地調査及び優良乗馬施設認定審査委員会の審査を経て乗馬施設を新規に認定すると共に、更新申請がある乗馬施設を認定するため、令和2年3月5日にJRA新橋分館PRC会議室において優良乗馬施設認定審査委員会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期とした。

(参考：平成30年度は168乗馬施設が優良乗馬施設として認定されている)

## 7. 乗用馬整備関係事業

### (1) 乗用馬防疫推進事業

(公財)全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて事業を行った。軽種馬防疫協議会が推奨する要領により、馬インフルエンザ、日本脳炎及び破傷風の予防ワクチンを所定のプログラムに基づいて接種が確認された馬4,735頭に対し、予防接種費の補助金を交付した。

登録乗用馬における馬インフルエンザ、日本脳炎および破傷風等の伝染性疾病に対する防疫体制の確立のため、令和2年2月26日にJRA新橋分館会議室において「乗用馬防疫推進委員会」を開催し、自己評価等の検証を行った。

### (2) 乗馬活動保険推進事業

JRAからの助成を受け、乗馬活動中に発生する様々なトラブルによる問題に対処するため、乗馬クラブが加入する傷害・賠償保険金額(年間)に対し、乗用馬防疫推進事業におけるワクチン接種馬の保有頭数に応じて補助金を交付した。

### (3) 在来馬乗用化推進事業

在来馬を乗用馬として安全に活用するため、在来馬保存会、在来馬飼育者、公設動物園等を対象とした馴致・調教の講習会を行った。

#### ・現地講習会

会場：社会福祉法人奄美共生園あやまる牧場(鹿児島県奄美市笠利町)

日程：6月8日～11日

トカラ馬の飼養管理者を対象に躰と基礎調教を指導

参加者：52名(延べ人数)



・集合講習会

会 場：のまうまハイランド（愛媛県今治市）

日 程：9月18日～21日

野間馬の飼養管理者を対象に飼育管理、馴致調教に関する集合講習会及び  
「第20回ちびっこ・のまうま祭り」におけるイベント運営指導

参 加 者：17名

(4) 馬の流通に係る若手後継者の育成調教技術向上推進事業

（公財）全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて下記の事業を行った。

① 馬の流通に係る調教技術向上推進事業推進委員会開催等事業

馬の流通に係る若手後継者の育成調教技術向上推進委員会を6月4日に馬事畜産会館会議室において開催した。

② 馬の流通に係る若手後継者の育成調教技術向上推進事業

馬産地においてこれまで講習を行った人材の中から優れた人材を活用して、各地域の生産団体によって選抜された若馬に対し乗用馬として付加価値を向上させ市場に送り出すための馴致調教を行うことと併せて、若手後継者が若馬の育成調教技術の習得に取り組んだ。

また、各地域において事業の進捗状況の確認と、正しい調教技術を普及伝達するために、事業期間中に本協会有資格者指導者を派遣して現地指導を行った。

遠野地域：10月23日～29日

参加者：3名

十勝地域：6月26日～30日

参加者：3名

根釧地域：10月19日～22日

参加者：7名

(5) 引退競走馬等の馬の多様な利活用普及推進事業

1) 馬の多様な利活用を推進する講習会開催等事業

JRAの助成を受け、全国各地で実施されている馬を活用した活動において、安全に馬を取り扱える人材の養成等のため、障がい者・ホースセラピー、観光・地域振興、子ども・教育に関する講習会等を開催した。

・講習会の開催

① 「障がい者乗馬・ホースセラピーの基礎知識」

会 場：さんさん牧場、かなぎウエスタンライディングパーク（島根県益田市・浜田市）

日 程：6月22日～23日

参 加 者：38名（延べ人数）

② 「リーダー・サイドウォーカー養成講習会」

会 場：公益社団法人神戸乗馬倶楽部（兵庫県神戸市）

日 程：7月6日～7日

参 加 者：68名（延べ人数）

③ 「馬と共に生きる」

会 場：離宮かやのもり周辺（奈良県桜井市）

日 程：7月12日～13日

参 加 者：66名（延べ人数）

④ 「学校における馬活用プロジェクト」

会 場：大阪府立農芸高等学校（大阪府堺市）

日 程：1) 7月18日、2) 10月31日～11月1日

参 加 者：1) 76名、2) 82名（延べ人数）

- ⑤ 「高齢者・障がい者乗馬体験会」  
「障がい者が馬を楽しむ為の講習会」  
会 場：那須野ヶ原ファーム他  
日 程：7月19日～21日  
参 加 者：乗馬体験会8名  
講習会32名（延べ人数）
- ⑥ 「馬学セミナー」  
会 場：帯広競馬場ふれあい動物園（北海道帯広市）  
日 程：8月9日～10日  
参 加 者：74名（延べ人数）
- ⑦ 「スポーツ流鏝馬による地域興しに関するワークショップ」  
「流鏝馬クリニック」  
会 場：十和田乗馬倶楽部他（青森県十和田市）  
日 程：8月31日～9月1日  
参 加 者：ワークショップ22名  
講習会71名（延べ人数）
- ⑧ 「第3回馬の多様な利活用を推進するための講習会」  
会 場：あわしま牧場他（新潟県岩船郡粟島浦村）  
日 程：9月15日～9月16日  
参 加 者：145名（延べ人数）
- ⑨ 「馬を介在させた親子のメンタルヘルス研修会」  
「馬と緑の文化圏構想プロジェクト」  
会 場：楠葉ロッジ、I&I LAND（大阪府四條畷市）  
日 程：11月24日、12月28日  
参 加 者：34名、78名
- ⑩ 「馬の飼養管理に関する講習会」  
会 場：美原乗馬クラブ他（沖縄県うるま市）  
日 程：12月3日  
参 加 者：18名

・事業推進委員会の開催

第1回：4月10日、第2回：8月29日、第3回：12月18日、  
令和2年度 第1回：令和2年1月31日

2) 障がい者乗馬・ホースセラピー活動等を支援するための事業

JRAの助成を受け、広く国内に障がい者乗馬・ホースセラピー活動を普及する為、安全性を始めとする馬の取り扱いや適切な対応がとれるよう、海外より講師を招いての講習会を下記の通り開催した。  
また、事業を円滑に運営するための事業推進委員会を開催し、ホースセラピー活動を普及するため「馬によるセラピー活動のためのガイドブック」の発刊を行った。

・講習会の開催

「海外より講師を招聘しての障がい者乗馬・ホースセラピー講習会」

講 師：ルパート・アイザクソン、ビアンカ・リムバック、ジーニー・スプリンガー  
会 場：しあわせの村研修館大会議室（西日本地区：兵庫県）  
神戸乗馬倶楽部（西日本地区：兵庫県）  
今池ガスビル7階プラチナルーム（中日本地区：愛知県）  
ホースファームエルミオーレ豊田（中日本地区：愛知県）

ホテルニューイタヤ（東日本地区：栃木県）

那須野ヶ原ファーム・那須スポーツパーク（東日本地区：栃木県）

日 程：10月14日～16日（西日本地区）

10月19日～21日（中日本地区）

10月25日～27日（東日本地区）

参加者：196名（延べ人数）

西日本地区 71名・中日本地区 35名・東日本地区 90名

・事業推進委員会

第1回：4月5日、第2回：8月29日、第3回：12月5日、  
令和2年度 第1回：令和2年2月6日

・ワーキンググループによるガイドブック作成作業

（第1回：平成31年2月28日）、第2回：4月5日、第3回：7月25日

3) 民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業

JRAの助成を受け、乗馬クラブ等で引退競走馬がより受け入れられるよう、転用促進等を活発化させるための環境づくりや方向性について検討し、事業を円滑に運営するための事業推進委員会等を開催した。

国内外より講師を招いての引退競走馬の更なる乗馬や馬術における活用と転用促進を目的とした講習会を開催した。また、引退競走馬をより一層、乗馬や馬術で活用させるために、全国10競技で引退競走馬のみの競技種目に対して引退競走馬所有者奨励金を授与した。

・講習会の開催

「引退競走馬でリオデジャネイロオリンピック総合馬術競技に出場したボイド・マーティン氏の講習会」

① 会 場：ノーザンホースパーク（北海道苫小牧市）

日 程：11月21日

参加者：63名

② 会 場：JRA阪神競馬場（兵庫県宝塚市）

日 程：11月23日

参加者：39名

③ 会 場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）

日 程：11月25日～27日

参加者：96名（延べ人数）

（受講者：69名・聴講者27名）

「ナチュラルホースマンシップを取り入れた持田裕之氏の引退競走馬のリトレーニング講習会」

① 会 場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）

日 程：5月14日～15日

参加者：50名（延べ人数）

② 会 場：福岡県馬術競技場（福岡県古賀市）

日 程：7月9日～10日

参加者：79名（延べ人数）

③ 会 場：三木ホースランドパーク（兵庫県三木市）

日 程：7月17日～18日

参加者：134名（延べ人数）

- ④ 会 場：ノーザンホースパーク（北海道苫小牧市）  
日 程：9月10日～11日  
参 加 者：129名（延べ人数）
- ⑤ 会 場：乗馬クラブエクセラ（秋田県大仙市）  
日 程：10月10日～11日  
参 加 者：73名（延べ人数）

・引退競走馬所有者奨励競技会の開催

- ① 会 場：乗馬クラブクレインオリンピックパーク（奈良県天理市）  
日 程：6月8日  
申 込 数：馬場馬術21頭
  - ② 会 場：福岡県馬術競技場（福岡県古賀市）  
日 程：6月9日  
申 込 数：障害馬術10頭
  - ③ 会 場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）  
日 程：6月15日  
申 込 数：障害馬術17頭
  - ④ 会 場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）  
日 程：6月16日  
申 込 数：馬場馬術13頭
  - ⑤ 会 場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）  
日 程：7月6日  
申 込 数：障害馬術20頭
  - ⑥ 会 場：蒜山ホースパーク（岡山県真庭市）  
日 程：8月31日  
申 込 数：障害馬術26頭
  - ⑦ 会 場：仙北市馬術競技場（秋田県大曲市）  
日 程：9月23日  
申 込 数：障害馬術18頭
  - ⑧ 会 場：ノーザンホースパーク（北海道苫小牧市）  
日 程：10月12日  
申 込 数：障害馬術24頭
  - ⑨ 会 場：水口乗馬クラブ（滋賀県甲賀市）  
日 程：10月27日  
申 込 数：障害馬術33頭
  - ⑩ 会 場：中島トニアシュタール（茨城県東茨城郡）  
日 程：11月24日  
申 込 数：障害馬術41頭
- ※10 競技合計 223 頭

・事業推進委員会

（第1回：平成31年2月26日）、第2回：8月20日、第3回：12月10日、  
令和2年度 第1回：令和2年2月12日

4) 多様な馬の利活用等の取組みを支援し、発展させるための事業

JRA の助成を受け、すでに実施されている馬の多様な利活用等に関する取組みの安定的な運営・発展を支援し、又は将来的に馬関連事業の参考事例となるような取組みや馬産業の人材養成等に資するような取組みを支援する事業として行った。

本年度は支援対象事業検討委員会で対象となった 30 事業に対しての支援を行った。

・支援対象事業検討委員会

(第 1 回：平成 31 年 1 月 18 日、第 2 回：平成 31 年 3 月 15 日)、第 3 回：6 月 27 日、  
令和 2 年度 第 1 回：令和 2 年 1 月 23 日、第 2 回：令和 2 年 3 月 19 日

## 8. 乗馬指導者養成関係事業

一般市民を安全に乗馬指導できる乗馬関係者を養成するため、下記の事業を行った。

(1) 乗馬指導者養成講習会

① 初級

初級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、乗馬に関する知識及び技術向上を目的として、ブリティッシュ部門 7 会場、ウエスタン部門 2 会場で講習会を開催した。 【別表 6】

② 中級・上級

中級・上級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、より高度な知識及び技術の向上を目的として、ブリティッシュ部門中級・上級・ウエスタン部門上級を実施し、ウエスタン部門中級は初級と合同で西日本会場（東申込なし）にて実施した。 【別表 6】

(2) 乗馬指導者資格認定

① 乗馬指導者資格認定試験

ブリティッシュ部門の初級認定試験及び中級・上級の学科試験を 10 月 8 日に全国 7 ヶ所において一斉に実施し、中級・上級の実技・面接試験は東西 2 ヶ所に分け、東日本地域は 11 月 12 日山梨県馬術競技場において、西日本地域は 11 月 19 日三木ホースランドパークにおいて開催した。

ウエスタン部門の初級・中級においても東西 2 ヶ所（中級は西のみ）に分け 10 月 16 日東日本地域は、山梨県馬術競技場において、西日本地域は福岡県馬術競技場において開催した。

また、ウエスタン部門の上級においては、ブリティッシュ部門の中級・上級と併せて東日本地域で開催した。 【別表 6】

② 乗馬指導者資格認定試験問題作成委員会

乗馬指導者の資格認定における試験問題の作成及び実施方法について、9 月 3 日に山梨県馬術競技場において（ブリティッシュ中級・上級・ウエスタン上級指導者講習会開催時）委員会を開催した。

また、次年度の乗馬指導者資格認定の実施方法について検討する委員会を令和 2 年 2 月 19 日に JRA 新橋分館会議室において開催した。

③ 資格審査員研修会

乗馬指導者資格審査委員に対し、実技試験の審査眼の統一を図り、試験内容の検討のため、6 月 4 日に馬事畜産会館会議室において実務研修を開催した。

④ 合否判定会議

12 月 3 日に JRA 新橋分館会議室において乗馬指導者資格認定試験の合否判定会議を行い、審議終了後それぞれの資格認定試験改善のため検討会を開催した。

<ブリティッシュ> 86 名合格（初級 74 名、中級 5 名、上級 7 名）

<ウエスタン> 8 名合格（初級 6 名、中級 0 名、上級 2 名）

【別表6】 令和元年度乗馬指導者養成講習会、資格認定試験

受講者数・・・191名

受験者数・・・168名

合格者数・・・94名

(単位：名)

区分	地域	会場	養成講習会			資格認定試験					
			期間	申請者	受講者	申請者	受験者	合格者	不合格者	合格率	
初級	プリティッシュ	北海道	ノーザンホースパーク	6/24～6/26	8	8	6	6	4	2	66.7%
		東北	ルネサンス棚倉	7/8～7/10	20	20	18	18	8	10	44.4%
		関東	中島トニアシュタール	9/2～9/4	70	65	62	61	36	25	59.0%
		北陸・中部	石川県馬事振興協会	7/23～7/25	9	8	8	7	3	4	42.9%
		関西	乗馬クラブクレインオリンピックパーク	7/8～7/10	29	28	22	21	9	12	42.9%
		中国・四国	広島大学馬術部	7/2～7/4	9	9	10	10	8	2	80.0%
		九州	福岡県馬術競技場	7/2～7/4	18	18	14	13	6	7	46.2%
	小計				163	156	140	136	74	62	54.4%
	ウエスタン	東日本	ラングラーランチ 山梨県馬術競技場	6/25～6/27	8	8	7	7	2	5	28.6%
		西日本	福岡県馬術競技場	6/25～6/27	6	6	7	7	4	3	57.1%
小計				14	14	14	14	6	8	42.9%	
初級合計				177	170	154	150	80	70	53.3%	
中級	プリティッシュ	東日本	山梨県馬術競技場	9/3～9/4	6	6	6	6	5	1	83.3%
		西日本	三木ホースランドパーク	8/27～8/28	3	3	3	2	0	2	0.0%
	小計				9	9	9	8	5	3	62.5%
	ウエスタン	東日本	-	-	0	0	0	0	0	0	-
		西日本	福岡県馬術競技場	6/25～6/27	2	2	2	1	0	1	0.0%
小計				2	2	2	1	0	1	0.0%	
中級合計				11	11	11	9	5	4	55.6%	
上級	プリティッシュ	東日本	山梨県馬術競技場	9/3～9/4	3	2	3	3	3	0	100.0%
		西日本	三木ホースランドパーク	8/27～8/28	6	6	5	4	4	0	100.0%
		小計				9	8	8	7	7	0
	ウエスタン	東日本	山梨県馬術競技場	9/3～9/4	2	2	2	2	2	0	100.0%
		西日本	-	-	0	0	0	0	0	0	-
		小計				2	2	2	2	2	0
上級合計				11	10	10	9	9	0	100.0%	
合計				199	191	175	168	94	74	56.0%	

注)

- ウエスタン中級は東日本、ウエスタン上級は西日本に申込者がいないため、開催せず。
- 初級乗馬指導者資格認定試験は、プリティッシュ10月8日、ウエスタン（中級含む）10月16日に実施。
- プリティッシュ中・上級、ウエスタン上級乗馬指導者資格認定試験は、学科10月8日、実技・面接については東日本が11月12日、西日本は11月19日に実施。

### (3) 乗馬指導者巡回指導

乗馬指導者資格取得者を対象に乗馬技術及び調教技術の向上を図るため、ブリティッシュ部門の巡回指導を3地区で開催する予定であったが、1地区は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

【別表 7】

講師：瀬理町芳隆 氏 ((株) 乗馬クラブクレイン指導部長)

2002年 CDI ヘレス・デ・ラ・フロンテーラ世界馬術選手権 馬場馬術競技出場

【別表 7】 令和元年度 巡回指導

地区	会場	開催期間	受講者数
北関東	中島トニアシュタール	令和2年1月28日～30日	7名
兵庫	三木ホースランドパーク	令和2年2月25日～27日	5名
北部九州	福岡県馬術競技場	令和2年3月10日～12日	※中止

※新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。

### (4) 乗馬指導者競技会

#### ① 全国乗馬指導者競技会

乗馬指導者の技術向上を図るため6月13日～15日の3日間、御殿場市馬術・スポーツセンターで、ブリティッシュ部門とウエスタン部門を同時に開催した。

#### ② 各地域の乗馬指導者競技会

7地域において一般の競技会と併せて実施した。

【別表 8】

【別表 8】 令和元年度 各地域の乗馬指導者競技会

開催地域	会場	開催月日
北海道	ノーザンホースパーク	10月12日～13日
東北	仙北市馬術競技場	9月22日～23日
関東	山梨県馬術競技場	8月23日
北陸中部	御殿場市馬術・スポーツセンター	10月25日
関西	水口乗馬クラブ	11月22日、24日
中国四国	蒜山ホースパーク	8月30日
九州	福岡県馬術競技場	11月2日～3日

### (5) 乗馬指導者資格更新講習会

既に乗馬指導者資格を取得している者を対象に乗馬指導の知識のレベルアップを図るために、北海道地域(北海道札幌市)、関西地域(大阪府大阪市)の2地域において馬の運動心理学・安全対策・指導法等について講習会を開催した。

- ・北海道地域(北海道立総合体育センター)

実施日：令和2年1月21日 受講者24名

- ・関西地域(新大阪丸ビル新館)

実施日：令和2年2月4日 受講者78名

〔特記事項〕

令和2年初頭からの新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、政府より発令された感染症対策の基本方針等を踏まえた上で、事業の一部を中止した。



令和元年度

# 会計決算報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
<b>I 資産の部</b>				
<b>1. 流動資産</b>				
現金預金	365,302,865	335,062,754	30,240,111	
現金	68,065	89,681	△ 21,616	
普通預金	305,234,800	274,973,073	30,261,727	
定期預金	60,000,000	60,000,000	0	
未収金	2,948,251	0	2,948,251	
仮払金	130,993,132	100,695,440	30,297,692	
貯蔵品	4,121,032	4,519,933	△ 398,901	
<b>流動資産合計</b>	<b>503,365,280</b>	<b>440,278,127</b>	<b>63,087,153</b>	
<b>2. 固定資産</b>				
<b>(1)特定資産</b>				
退職給付引当資産	47,022,906	42,746,317	4,276,589	
乗馬振興事業特別積立資産	16,000,000	16,000,000	0	
再貸付事業積立資産	40,984,325	40,265,660	718,665	
ソフトウェア	8,653,334	0	8,653,334	
<b>特定資産合計</b>	<b>112,660,565</b>	<b>99,011,977</b>	<b>13,648,588</b>	
<b>(2)その他固定資産</b>				
備品	1,895,700	1,759,170	136,530	
ソフトウェア	405,543	584,823	△ 179,280	
電話加入権	372,008	372,008	0	
<b>その他固定資産合計</b>	<b>2,673,251</b>	<b>2,716,001</b>	<b>△ 42,750</b>	
<b>固定資産合計</b>	<b>115,333,816</b>	<b>101,727,978</b>	<b>13,605,838</b>	
<b>資産合計</b>	<b>618,699,096</b>	<b>542,006,105</b>	<b>76,692,991</b>	
<b>II 負債の部</b>				
<b>1. 流動負債</b>				
未払金	5,935,374	6,690,944	△ 755,570	
仮受金	335,602,387	282,785,815	52,816,572	
預り金	1,079,753	1,386,402	△ 306,649	
賞与引当金	4,320,719	4,129,581	191,138	
<b>流動負債合計</b>	<b>346,938,233</b>	<b>294,992,742</b>	<b>51,945,491</b>	
<b>2. 固定負債</b>				
退職給付引当金	47,022,906	42,746,317	4,276,589	
<b>固定負債合計</b>	<b>47,022,906</b>	<b>42,746,317</b>	<b>4,276,589</b>	
<b>負債合計</b>	<b>393,961,139</b>	<b>337,739,059</b>	<b>56,222,080</b>	
<b>III 正味財産の部</b>				
<b>1. 指定正味財産</b>	<b>8,653,334</b>	<b>0</b>	<b>8,653,334</b>	
(うち基本資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)	
(うち特定資産への充当額)	( 8,653,334)	( 0)	( 8,653,334)	
<b>2. 一般正味財産</b>	<b>216,084,623</b>	<b>204,267,046</b>	<b>11,817,577</b>	
(うち基本資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)	
(うち特定資産への充当額)	( 56,984,325)	( 56,265,660)	( 718,665)	
<b>正味財産合計</b>	<b>224,737,957</b>	<b>204,267,046</b>	<b>20,470,911</b>	
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>618,699,096</b>	<b>542,006,105</b>	<b>76,692,991</b>	

貸借対照表内訳表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計	備考
<b>I 資産の部</b>						
<b>1. 流動資産</b>						
現金預金	197,284,251	141,040,152	26,978,462		365,302,865	
現金	0	0	68,065		68,065	
普通預金	197,284,251	81,040,152	26,910,397		305,234,800	
定期預金	0	60,000,000	0		60,000,000	
未収金	2,881,884	0	66,367		2,948,251	
仮払金	130,000,000	0	993,132		130,993,132	
貯蔵品	4,121,032	0	0		4,121,032	
<b>流動資産合計</b>	<b>334,287,167</b>	<b>141,040,152</b>	<b>28,037,961</b>	<b>0</b>	<b>503,365,280</b>	
<b>2. 固定資産</b>						
<b>(1) 特定資産</b>						
退職給付引当資産	38,558,783	3,761,832	4,702,291		47,022,906	
乗馬振興事業特別積立資産	0	0	16,000,000		16,000,000	
再貸付事業積立資産	0	40,984,325	0		40,984,325	
ソフトウェア	8,653,334	0	0		8,653,334	
<b>特定資産合計</b>	<b>47,212,117</b>	<b>44,746,157</b>	<b>20,702,291</b>	<b>0</b>	<b>112,660,565</b>	
<b>(2) その他固定資産</b>						
備品	1,618,570	123,169	153,961		1,895,700	
ソフトウェア	362,354	19,195	23,994		405,543	
電話加入権	271,566	40,921	59,521		372,008	
<b>その他固定資産合計</b>	<b>2,252,490</b>	<b>183,285</b>	<b>237,476</b>	<b>0</b>	<b>2,673,251</b>	
<b>固定資産合計</b>	<b>49,464,607</b>	<b>44,929,442</b>	<b>20,939,767</b>	<b>0</b>	<b>115,333,816</b>	
<b>資産合計</b>	<b>383,751,774</b>	<b>185,969,594</b>	<b>48,977,728</b>	<b>0</b>	<b>618,699,096</b>	
<b>II 負債の部</b>						
<b>1. 流動負債</b>						
未払金	2,724,110	8,800	3,202,464		5,935,374	
仮受金	322,452,926	8,299,420	4,850,041		335,602,387	
預り金	0	711,931	367,822		1,079,753	
賞与引当金	3,542,990	345,657	432,072		4,320,719	
<b>流動負債合計</b>	<b>328,720,026</b>	<b>9,365,808</b>	<b>8,852,399</b>	<b>0</b>	<b>346,938,233</b>	
<b>2. 固定負債</b>						
退職給付引当金	38,558,783	3,761,832	4,702,291		47,022,906	
<b>固定負債合計</b>	<b>38,558,783</b>	<b>3,761,832</b>	<b>4,702,291</b>	<b>0</b>	<b>47,022,906</b>	
<b>負債合計</b>	<b>367,278,809</b>	<b>13,127,640</b>	<b>13,554,690</b>	<b>0</b>	<b>393,961,139</b>	
<b>III 正味財産の部</b>						
<b>1. 指定正味財産</b>						
<b>指定正味財産合計</b>	<b>8,653,334</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8,653,334</b>	
(うち基本資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)		( 0)	
(うち特定資産への充当額)	( 8,653,334)	( 0)	( 0)		( 8,653,334)	
<b>2. 一般正味財産</b>	<b>7,819,631</b>	<b>172,841,954</b>	<b>35,423,038</b>	<b>0</b>	<b>216,084,623</b>	
(うち基本資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)		( 0)	
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 40,984,325)	( 16,000,000)		( 56,984,325)	
<b>正味財産合計</b>	<b>16,472,965</b>	<b>172,841,954</b>	<b>35,423,038</b>	<b>0</b>	<b>224,737,957</b>	
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>383,751,774</b>	<b>185,969,594</b>	<b>48,977,728</b>	<b>0</b>	<b>618,699,096</b>	

注) 乗馬施設活性化支援事業において(公財)畜産近代化リース協会より借受け、登録乗馬施設に貸付けを行っている再貸付物件が195,772,942円ある。

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
特定資産運用益	8,081	8,033	48	
特定預金受取利息収益	8,081	8,033	48	
受取入会金及び会費	3,290,000	3,090,000	200,000	
受取入会金及び会費	3,290,000	3,090,000	200,000	
事業収益	98,797,131	99,089,126	△ 291,995	
登録料収益	42,810,520	44,220,240	△ 1,409,720	
指導者資格認定試験料収益	2,707,400	2,649,200	58,200	
乗馬技能認定料収益	45,604,380	43,872,840	1,731,540	
再貸付事務手数料収益	1,437,329	1,240,230	197,099	
資格認定テキスト収益	6,237,502	7,106,616	△ 869,114	
受取補助金等	360,076,303	254,635,493	105,440,810	
乗馬普及事業助成金	356,786,196	251,485,493	105,300,703	
乗馬普及事業助成金減価却費振替額	146,666	0	146,666	
内国産馬生産奨励事業助成金	3,143,441	3,150,000	△ 6,559	
雑収益	7,547	7,691	△ 144	
受取利息収益	7,547	7,691	△ 144	
<b>経常収益計</b>	<b>462,179,062</b>	<b>356,830,343</b>	<b>105,348,719</b>	
<b>(2) 経常費用</b>				
事業費	440,411,708	331,494,810	108,916,898	
役員報酬	5,361,075	6,628,968	△ 1,267,893	
給与手当	49,038,110	49,363,931	△ 325,821	
社会保険料	9,752,142	8,834,384	917,758	
福利厚生費	676,618	819,187	△ 142,569	
馬とのふれあい補助費	31,656,498	30,269,600	1,386,898	
乗用馬保健衛生補助費	33,487,287	28,237,745	5,249,542	
乗馬施設整備補助費	166,181,781	88,449,024	77,732,757	
競技会奨励費及び賞品費	13,573,412	8,378,645	5,194,767	
会議及び講習会費	28,233,587	20,643,805	7,589,782	
旅費交通費	54,408,813	46,597,078	7,811,735	
従事員賃金	7,055,199	3,997,918	3,057,281	
広報費	7,373,196	10,583,730	△ 3,210,534	
備品及び借料費	7,813,817	7,331,730	482,087	
減価償却費	520,652	344,265	176,387	
消耗品費	612,793	561,955	50,838	
図書印刷製本費	8,719,188	6,369,221	2,349,967	
通信費	2,975,909	2,519,850	456,059	
光熱及び水料	372,904	373,898	△ 994	
役務費	2,924,438	2,906,933	17,505	
租税公課	2,977,870	2,634,560	343,310	
雑費	2,675,465	1,968,439	707,026	
退職給付費用	3,848,930	3,777,656	71,274	
賞与引当金繰入	172,024	△ 97,712	269,736	
管理費	9,949,777	9,771,333	178,444	
役員報酬	595,675	736,552	△ 140,877	
給与手当	5,448,679	5,484,992	△ 36,313	
社会保険料	1,083,572	981,376	102,196	
福利厚生費	75,180	91,022	△ 15,842	
会議及び講習会費	32,871	34,176	△ 1,305	
旅費交通費	376,396	389,872	△ 13,476	

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
従事員賃金	115,347	94,402	20,945	
備品及び借料費	813,851	753,244	60,607	
減価償却費	29,564	53,272	△ 23,708	
消耗品費	52,319	58,547	△ 6,228	
図書印刷製本費	64,609	45,381	19,228	
通信費	263,204	244,240	18,964	
光熱及び水料	41,434	41,545	△ 111	
役務費	324,937	314,974	9,963	
租税公課	2,630	3,040	△ 410	
雑費	182,736	83,435	99,301	
退職給付費用	427,659	419,740	7,919	
賞与引当金繰入	19,114	△ 58,477	77,591	
<b>経常費用計</b>	<b>450,361,485</b>	<b>341,266,143</b>	<b>109,095,342</b>	
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>11,817,577</b>	<b>15,564,200</b>	<b>△ 3,746,623</b>	
基本財産評価損益	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
<b>当期経常増減額</b>	<b>11,817,577</b>	<b>15,564,200</b>	<b>△ 3,746,623</b>	
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>11,817,577</b>	<b>15,564,200</b>	<b>△ 3,746,623</b>	
一般正味財産期首残高	204,267,046	188,702,846	15,564,200	
一般正味財産期末残高	216,084,623	204,267,046	11,817,577	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受取補助金等	8,800,000	0	8,800,000	
一般正味財産への振替額	△ 146,666	0	△ 146,666	
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>8,653,334</b>	<b>0</b>	<b>8,653,334</b>	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	8,653,334	0	8,653,334	
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>224,737,957</b>	<b>204,267,046</b>	<b>20,470,911</b>	

正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計	備考
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性 化支援事業	共通	小計				
<b>I 一般正味財産増減の部</b>										
<b>1. 経常増減の部</b>										
<b>(1) 経常収益</b>										
特定資産運用益	2,903	2,903	177	3,047	0	3,224	1,954		8,081	
特定預金受取利息収益	2,903	2,903	177	3,047	0	3,224	1,954		8,081	
受取入会金及び会費	1,645,000	1,645,000	0	0	0	0	1,645,000		3,290,000	
受取入会金及び会費	1,645,000	1,645,000	0	0	0	0	1,645,000		3,290,000	
事業収益	54,549,282	54,549,282	42,810,520	1,437,329	0	44,247,849	0		98,797,131	
登録料収益	0	0	42,810,520	0	0	42,810,520	0		42,810,520	
指導者資格認定試験料収益	2,707,400	2,707,400	0	0	0	0	0		2,707,400	
乗馬技能認定料収益	45,604,380	45,604,380	0	0	0	0	0		45,604,380	
再貸付事務手数料収益	0	0	0	1,437,329	0	1,437,329	0		1,437,329	
資格認定テキスト収益	6,237,502	6,237,502	0	0	0	0	0		6,237,502	
受取補助金等	349,609,194	349,609,194	2,905,075	1,743,045	0	4,648,120	5,818,989		360,076,303	
乗馬普及事業助成金	346,319,087	346,319,087	2,905,075	1,743,045	0	4,648,120	5,818,989		356,786,196	
乗馬普及事業助成金減価償却費振替額	146,666	146,666	0	0	0	0	0		146,666	
内国産馬生産奨励事業助成金	3,143,441	3,143,441	0	0	0	0	0		3,143,441	
雑収益	6,039	6,039	368	403	0	771	737		7,547	
受取利息収益	6,039	6,039	368	403	0	771	737		7,547	
<b>経常収益計</b>	<b>405,812,418</b>	<b>405,812,418</b>	<b>45,716,140</b>	<b>3,183,824</b>	<b>0</b>	<b>48,899,964</b>	<b>7,466,680</b>	<b>0</b>	<b>462,179,062</b>	
<b>(2) 経常費用</b>										
事業費	430,856,635	430,856,635	6,509,101	3,045,972	0	9,555,073	—		440,411,708	
役員報酬	4,884,535	4,884,535	297,837	178,703	0	476,540	—		5,361,075	
給与手当	44,679,167	44,679,167	2,724,340	1,634,603	0	4,358,943	—		49,038,110	
社会保険料	8,885,285	8,885,285	541,786	325,071	0	866,857	—		9,752,142	
福利厚生費	616,474	616,474	37,590	22,554	0	60,144	—		676,618	
馬とのふれあい補助費	31,656,498	31,656,498	0	0	0	0	—		31,656,498	
乗用馬保健衛生補助費	33,487,287	33,487,287	0	0	0	0	—		33,487,287	
乗馬施設整備補助費	166,181,781	166,181,781	0	0	0	0	—		166,181,781	
競技会奨励費及び賞品費	13,573,412	13,573,412	0	0	0	0	—		13,573,412	
会議及び講習会費	28,207,291	28,207,291	16,435	9,861	0	26,296	—		28,233,587	
旅費交通費	53,877,306	53,877,306	418,588	112,919	0	531,507	—		54,408,813	
従事員賃金	6,443,427	6,443,427	577,168	34,604	0	611,772	—		7,055,199	
広報費	7,373,196	7,373,196	0	0	0	0	—		7,373,196	
備品及び借料費	7,162,737	7,162,737	406,925	244,155	0	651,080	—		7,813,817	
減価償却費	497,001	497,001	14,781	8,870	0	23,651	—		520,652	
消耗品費	570,938	570,938	26,159	15,696	0	41,855	—		612,793	
図書印刷製本費	7,944,867	7,944,867	754,938	19,383	0	774,321	—		8,719,188	
通信費	2,703,648	2,703,648	193,300	78,961	0	272,261	—		2,975,909	
光熱及び水料	339,757	339,757	20,717	12,430	0	33,147	—		372,904	
役務費	2,664,488	2,664,488	162,469	97,481	0	259,950	—		2,924,438	
租税公課	2,975,766	2,975,766	1,315	789	0	2,104	—		2,977,870	
雑費	2,468,237	2,468,237	91,367	115,861	0	207,228	—		2,675,465	

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計	備考
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性 化支援事業	共通	小計				
退職給付費用	3,506,803	3,506,803	213,829	128,298	0	342,127	—		3,848,930	
賞与引当金繰入	156,734	156,734	9,557	5,733	0	15,290	—		172,024	
管理費	—	—	—	—	—	—	9,949,777		9,949,777	
役員報酬	—	—	—	—	—	—	595,675		595,675	
給与手当	—	—	—	—	—	—	5,448,679		5,448,679	
社会保険料	—	—	—	—	—	—	1,083,572		1,083,572	
福利厚生費	—	—	—	—	—	—	75,180		75,180	
会議及び講習会費	—	—	—	—	—	—	32,871		32,871	
旅費交通費	—	—	—	—	—	—	376,396		376,396	
従事員賃金	—	—	—	—	—	—	115,347		115,347	
備品及び借料費	—	—	—	—	—	—	813,851		813,851	
減価償却費	—	—	—	—	—	—	29,564		29,564	
消耗品費	—	—	—	—	—	—	52,319		52,319	
図書印刷製本費	—	—	—	—	—	—	64,609		64,609	
通信費	—	—	—	—	—	—	263,204		263,204	
光熱及び水料	—	—	—	—	—	—	41,434		41,434	
役務費	—	—	—	—	—	—	324,937		324,937	
租税公課	—	—	—	—	—	—	2,630		2,630	
雑費	—	—	—	—	—	—	182,736		182,736	
退職給付費用	—	—	—	—	—	—	427,659		427,659	
賞与引当金繰入	—	—	—	—	—	—	19,114		19,114	
<b>経常費用計</b>	<b>430,856,635</b>	<b>430,856,635</b>	<b>6,509,101</b>	<b>3,045,972</b>	<b>0</b>	<b>9,555,073</b>	<b>9,949,777</b>	<b>0</b>	<b>450,361,485</b>	
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>△ 25,044,217</b>	<b>△ 25,044,217</b>	<b>39,207,039</b>	<b>137,852</b>	<b>0</b>	<b>39,344,891</b>	<b>△ 2,483,097</b>	<b>0</b>	<b>11,817,577</b>	
基本財産評価損益	0	0	0	0	0	0	0		0	
特定資産評価損益	0	0	0	0	0	0	0		0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0	
<b>評価損益等計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 25,044,217</b>	<b>△ 25,044,217</b>	<b>39,207,039</b>	<b>137,852</b>	<b>0</b>	<b>39,344,891</b>	<b>△ 2,483,097</b>	<b>0</b>	<b>11,817,577</b>	
<b>2. 経常外増減の部</b>										
(1)経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2)経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>他会計振替前当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 25,044,217</b>	<b>△ 25,044,217</b>	<b>39,207,039</b>	<b>137,852</b>	<b>0</b>	<b>39,344,891</b>	<b>△ 2,483,097</b>	<b>0</b>	<b>11,817,577</b>	
<b>他会計振替額</b>	<b>21,000,000</b>	<b>21,000,000</b>	<b>△ 22,500,000</b>	<b>781,336</b>	<b>0</b>	<b>△ 21,718,664</b>	<b>718,664</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 4,044,217</b>	<b>△ 4,044,217</b>	<b>16,707,039</b>	<b>919,188</b>	<b>0</b>	<b>17,626,227</b>	<b>△ 1,764,433</b>	<b>0</b>	<b>11,817,577</b>	
一般正味財産期首残高	11,863,848	11,863,848	113,000,274	42,215,453	0	155,215,727	37,187,471	0	204,267,046	
一般正味財産期末残高	7,819,631	7,819,631	129,707,313	43,134,641	0	172,841,954	35,423,038	0	216,084,623	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>										
受取補助金等	8,800,000	8,800,000	0	0	0	0	0	0	8,800,000	
一般正味財産への振替額	△ 146,666	△ 146,666	0	0	0	0	0	0	△ 146,666	
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>8,653,334</b>	<b>8,653,334</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8,653,334</b>	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	8,653,334	8,653,334	0	0	0	0	0	0	8,653,334	
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>16,472,965</b>	<b>16,472,965</b>	<b>129,707,313</b>	<b>43,134,641</b>	<b>0</b>	<b>172,841,954</b>	<b>35,423,038</b>	<b>0</b>	<b>224,737,957</b>	

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用し、直接法により表示している。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は役職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。なお退職給付債務は期末要支給額に基づいて計算している。

賞与引当金は職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

#### (4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 3. 会計方針の変更

なし。

### 4. 特定資産の増減額及びその残額

特定資産の増減額及びその残額は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	42,746,317	4,276,589	0	47,022,906
乗馬振興事業特別積立資産	16,000,000	0	0	16,000,000
再貸付事業積立資産	40,265,660	718,665	0	40,984,325
ソフトウェア	0	8,800,000	146,666	8,653,334
合 計	99,011,977	13,795,254	146,666	112,660,565

### 5. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当預金	47,022,906	0	0	47,022,906
乗馬振興事業特別積立預金	16,000,000	0	16,000,000	0
再貸付事業積立預金	40,984,325	0	40,984,325	0



科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
ソフトウェア	8,653,334	8,653,334	0	0
合 計	112,660,565	8,653,334	56,984,325	47,022,906

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
備 品	5,081,376	3,185,676	1,895,700
ソフトウェア	2,739,150	2,333,607	405,543
電話加入権	372,008	0	372,008
合 計	8,192,534	5,519,283	2,673,251

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
日本中央競馬会 助成金	日本 中央 競馬会	0	95,340,959	95,340,959	0	
競馬振興特別助成金 【3項④】 被災地支援等のための 馬とのふれあい活動事 業	日本 中央 競馬会	0	23,984,498	23,984,498	0	
競馬振興特別助成金 【3項⑤】 多様な馬の利活用等の 取組みを支援し、発展 させるための事業	日本 中央 競馬会	0	457,879,290	138,773,715	319,105,575	流動負債
競馬振興特別助成金 【3項⑤】 多様な馬の利活用等の 取組みを支援し、発展 させるための事業	日本 中央 競馬会	0	8,800,000	146,666	8,653,334	指定正味財産
競馬振興特別助成金 【3項①】 馬の多様な利活用を推 進する講習会開催等事 業	日本 中央 競馬会	0	20,315,147	20,315,147	0	
競馬振興特別助成金 【3項②】 障がい者乗馬・ホース セラピー活動等を支援 するための事業	日本 中央 競馬会	0	15,033,405	15,033,405	0	

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
競馬振興特別助成金【3項③】 民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業	日本中央競馬会	0	29,851,185	29,851,185	0	
畜産振興事業助成金【4項】 乗用馬防疫推進事業	全国競馬・畜産振興会	0	33,487,287	33,487,287	0	
畜産振興事業助成金【4項】 馬の流通に係る調教技術向上推進事業	全国競馬・畜産振興会	0	3,143,441	3,143,441	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金額
経常収益への振替額 減価償却費計上による振替額	146,666
合 計	146,666

○ 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

① 退職給付債務	47,022,906
② 会計基準変更時差異の未処理額	0
③ 退職給付引当金 (①+②)	47,022,906

(3) 退職給付費用に関する事項

① 勤務費用	4,276,589
② 会計基準変更時差異の費用処理額	0
③ 退職給付費用 (①+②)	4,276,589

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

## 付 属 明 細 書

### 1. 特定資産の明細

区分	科 目	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿残高
特定資産	退職給付引当資産	42,746,317	4,276,589	0	47,022,906
	乗馬振興事業 特別積立資産	16,000,000	0	0	16,000,000
	再貸付事業積立資産	40,265,660	718,665	0	40,984,325
	ソフトウェア	0	8,800,000	146,666	8,653,334
	合 計	99,011,977	13,795,254	146,666	112,660,565

### 2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,129,581	4,320,719	4,129,581	0	4,320,719
退職給付引当金	42,746,317	4,276,589	0	0	47,022,906

(注) 計上の理由及び算定方法については、財務諸表に対する注記に記載している。

## 財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
<b>現金 預金</b>	手元保管	運転資金として	<b>68,065</b>
	普通預金		<b>305,234,800</b>
	三菱UFJ銀行 本店 (3口座)	運転資金として	277,718,370
	三井住友銀行 経堂支店 (4口座)	"	24,573,597
	三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店 (2口座)	"	2,942,833
	定期預金		<b>60,000,000</b>
	三井住友銀行 経堂支店	運転資金として	60,000,000
	<b>未収金</b>		<b>2,948,251</b>
	日本中央競馬会からの助成金	乗馬普及事業の補助金の未収分	2,881,884
	健康保険・厚生年金保険料の自己負担分	法人会計管理費の未収分	66,367
<b>仮払金</b>		<b>130,993,132</b>	
次年度執行分の補助金 21団体	乗馬普及事業の事業費	130,000,000	
次年度事業にかかる傷害保険料等	"	976,632	
備品のレンタル料	法人会計管理費	16,500	
<b>貯蔵品</b>		<b>4,121,032</b>	
「レッツエンジョイライディング」等のテキスト類 10,951冊	乗馬普及事業のテキストの在庫	2,976,620	
ポニーライダー技能認定の認定バッジ 1,398個	乗馬普及事業の認定バッジの在庫	1,144,412	
<b>流動資産合計</b>			<b>503,365,280</b>
<b>(固定資産)</b>			
<b>特定資産</b>			
<b>退職給付引当資産</b>	普通預金 三井住友銀行 経堂支店	役員に対する退職金の支払に備えた預金	<b>47,022,906</b>
	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	"	12,533,042
			34,489,864
			<b>16,000,000</b>
<b>乗馬振興事業特別 積立資産</b>	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	乗馬普及及び振興の事業のために使用する預金	16,000,000
	<b>再貸付事業積立 資産</b>	乗馬施設活性化事業の借り入れ物件に対する保障の積立預金	<b>40,984,325</b>
	普通預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店		12,757,074
<b>ソフトウェア</b>	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	"	28,227,251
	乗馬普及事業の総合業務システム	公益目的保有財産として8,653,334円のソフトウェアを使用している。	<b>8,653,334</b>
<b>その他 固定資産</b>			
<b>備品</b>	事務所パソコン及び什器類 12件	公益目的保有財産の備品は1,618,570円であり、乗馬普及事業に使用している。その他、収益事業等会計として123,169円、法人会計として153,961円の備品を使用している。	<b>1,895,700</b>
<b>ソフトウェア</b>	乗馬指導者管理システム及び会計ソフト等 5件	公益目的保有財産として362,354円のソフトウェアを使用している。その他、収益事業等会計として19,195円、法人会計として23,994円のソフトウェアを使用している。	<b>405,543</b>
<b>電話加入権</b>	5回線分	公益目的保有財産の電話加入権は271,566円であり、乗馬普及事業に使用している。その他、収益事業等会計として40,921円、法人会計として59,521円の電話加入権を使用している。	<b>372,008</b>
<b>固定資産合計</b>			<b>115,333,816</b>
<b>資産合計</b>			<b>618,699,096</b>
<b>(流動負債)</b>			
<b>未払金</b>	通信費、地区への共催金等 4件	乗馬普及事業の事業経費	<b>5,935,374</b>
	臨時従業員への3月分給与	"	412,960
	消費税	消費税納税分	660,550
	証明書発行手数料等 2件	乗馬施設活性化事業の事業経費	1,650,600
	通信費、消耗品費等の事務管理費 16件	法人会計管理費等の3月の経費支払分	8,800
	社会保険料	役員等に対する3月の社会保険料	1,871,705
	給与手当等	職員・臨時従業員に対する3月分給与等	1,220,142
			110,617
	<b>仮受金</b>		<b>335,602,387</b>
	指導者登録料 671人	乗馬施設等登録事業の次年度登録料	8,052,000
再貸付事業の貸付料、事務手数料等	乗馬施設活性化事業の次年度分	235,420	
誤入金	返金予定分	12,432	
日本中央競馬会からの助成金	助成金未使用分の返還分	4,850,041	
"	乗馬普及事業の次年度分	319,105,575	
公益財団法人全国競馬・畜産振興会からの助成金	助成金未使用分の返還分	3,346,526	
預金利息	助成金に対する利息分	393	
		<b>1,079,753</b>	
<b>預り金</b>		<b>145,022</b>	
所得税	役員及び委員等に対する3月分所得税	145,022	
住民税	役員に対する3月分住民税	222,800	
乗馬施設再貸付事業に伴う手数料及び貸付金	乗馬施設活性化事業の事業経費及び手形差額分の現金預かり分	711,931	
<b>賞与引当金</b>	職員に対する12～3月分の賞与分	<b>4,320,719</b>	
<b>流動負債合計</b>			<b>346,938,233</b>
<b>(固定負債)</b>			
<b>退職給付引当金</b>	役員に対するもの	役員に対する退職金の支払に備えたもの	<b>47,022,906</b>
<b>固定負債合計</b>			<b>47,022,906</b>
<b>負債合計</b>			<b>393,961,139</b>
<b>正味財産</b>			<b>224,737,957</b>

# 監 査 報 告

令和2年5月18日

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

会 長 細 野 利 昭 殿

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

監 事 神 谷 孝 之

監 事 杉 本 修

私たち監事は、定款第23条の規定に基づき、令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。